

第4学年  
学級通信  
第36号

百人一首セカンドステージ



春からずっと継続してきた百人一首ですが、すっかり児童の頭の中に入ってしまったようです。

その分、ゲームとしての順位がある程度固定化されてきて、ちよつとだらけてきていました。

そこで、セカンドステージとして、取り札二十枚を

全て、これまでと違うものにししました。

とまどう児童もいましたが、これまでの経験から、すぐに適応していました。

まだやっていない札が六十枚もあります。

四年生中にサードステージより先まで進むかもしれません。

二月二十一日の参観日の授業内容ですが、社会科で調べたことの発表です。

「青森県のこと」です。今回は班毎の発表ではなくて調べるテーマで分かれたグループ毎の発表です。

短鉛筆禁止

極端に短い鉛筆を授業中に使用することを禁止したいと思います。理由は、美しいノート作りのためです。

極端に短い鉛筆では丁寧な字を書きにくいのです。

それではどれくらいの長さならよいのでしょうか？

四年生では「鉛筆をもつて指を伸ばしたときに鉛筆の尻が親指と人差し指の間にある水かき状の部分に触れない長さ」と定義します。

それより短い長さのものは、簡単に捨てるのではなく授業以外の場合で有効に使用して欲しいと思います。

「青森県のこと」です。今回は班毎の発表ではなくて調べるテーマで分かれたグループ毎の発表です。

マインドマップに挑戦

最近、マインドマップに興味をもっています。

東京のちよつとした知り合いの先生が御自身のブログで紹介していたものです。

先日、東京出張のさいに立ち寄った本屋でマインドマップに関するムックを発見したので早速購入してためしてみました。

試してみたらすごくいいのです。さつそくネットで書物検索したら、マインドマップ f o r K I D S というのを発見したので即購入し、子どもたちといっしょにマインドマップ修行を開始しました。

さすが柔らかな子どもたち

最近、マインドマップに興味をもっています。東京のちよつとした知り合いの先生が御自身のブログで紹介していたものです。

ちの脳みそです。みるまにそれらしいマインドマップを書き上げていました。

マインドマップはとてすばらしい技術ですが、マインドマップと呼ぶには、一定のルールがあるよう

で、いま我々がやっているのはマインドマップ風のマ

ップということになります。

今はまだ、マインドマップの練習でマップを書くことが目的の活動しかしてません。

子どもたちの新たな「まとめかた」として定着させていきたいと考えています。

参観日はまたまた発表会

来週のバス

曜日	15:45/16:30
火曜	15:00/15:45
水曜	15:45/16:30
木曜	16:20

来週の予定

11日	建国記念の日
12日	ALT来校日
13日	体育集会
14日	読書タイム
15日	貯金日
	児童集会
	貯金日
	委員会